

レジ袋の利用抑制に向けた消費者団体及びスーパー事業者との連携構築について

滝川市市民生活部くらし支援課

滝川市は、市内に店舗を展開する 5 つの各スーパー事業者及び滝川消費者協会との相互連携の下で、これまでの使い捨てレジ袋の利用のあり方を見直し、ごみの減量化や資源の有効利用を推進するため、三者間における協定を締結します。

これに合わせて、各スーパー事業者においては、各店舗で従前、無料配布を行っていたレジ袋の有料化を予定（一部、既実施店あり）しており、市としても他の二者と連携を図りながら、広く市民に対して、特に反復的な日常の食料品等の買い物を中心にマイバッグや買い物かごなどの持参を呼びかけていくこととし、継続的に本取組の趣旨に対して理解と協力を求めていくこととします。

記

1 締結式の開催について

- (1)開催日時 平成 20 年 12 月 1 日(月) 午前 11 時から
(2)開催場所 滝川市役所 5 階 第一応接室

2 協定を締結する主体

滝川市、滝川消費者協会、各スーパー事業者※

なお、各スーパー事業者※（順不同、敬称略）は次の 5 事業者となります。

- ・生活協同組合コープさっぽろ滝川店
- ・株式会社道北ラルズ
- ・マックスバリュ北海道株式会社
- ・株式会社ダイエー
- ・(株)JA たきかわサービス

3 協定の概要

滝川市民をはじめとした多くの消費者が、レジ袋の利用抑制に円滑に参画できるよう相互連携の下で、それぞれの立場から取組を進めることとし、特にスーパー事業者においては、①レジ袋消費削減に向けた目標値の明示、②レジ袋有料化の実施、③レジ袋有料化に伴う益金又はレジ袋辞退者数に応じた一定割合の金額についての環境・地域貢献のための還元などを打ち出しています。これに加えて、一定期間を経た時点でレジ袋の消費削減の状況を確認するべく、各事業者から市へのデータ提供の実施なども盛り込まれています。